

令和元年度

石狩市教育委員会会議（1月定例会）議案

石狩市教育委員会

日 程

日 時 令和2年1月28日(火) 午前10時30分

場 所 市役所本庁舎 市議会第2委員会室

日程第1 署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 報告事項

① 令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について

日程第4 その他

日程第5 次回定例会の開催について

令和2年 2月 日 () 時 分開催

教育長報告
(教育委員会事務局の主な動き)

令和2年1月28日
教育委員会会議提出

12月25日	「令和元年度石狩市教職員研修ウインターセミナー」	りんくる交流活動室
	「令和元年度石狩管内教育委員会協議会教育長会」	道庁別館教育委員会室
26日	「永年勤務者表彰伝達式」	教育長室
	「学校力に関する総合実践事業ミニ研修」	花川小学校
	「日程調整会議」	庁議室
27日	「仕事納め」	
1月6日	「仕事始め・市長訓示&教育長訓示」	議場・教育委員会
	「新年あいさつ回り」	浜益・厚田支所 学び交流センター
	「令和2年石狩市新年交礼会」	花川北コミセン
7日	「令和2年石狩消防出初式」	花川北コミセン
	「新年あいさつ回り」	図書館本館、八幡・花川南分館 砂丘の風資料館、ふらっとくらぶ 公民館、学校給食センター 星置養護学校紅葉山校舎
8日	「新年あいさつ回り」	
	「教職員人事管理職(校長)個別協議」	石狩教育局
9日	「新年あいさつ回り」	星置養護学校
10日	「管内教育連絡調整会議・情報交換会・教育懇談会」	道庁別館
11日	「令和2年公益財団法人石狩市体育協会新年交礼会」	ガトーキングダム
12日	「令和2年石狩市成人式」	花川北コミセン
13日	「北海道少年少女合唱連盟35周年記念合同演奏会」	札幌市民ホール
15日	「令和2年度当初予算理事者ヒアリング(2回目)」	庁議室
	「1月定例教育委員会管理職会議」	401会議室
16日	「教職員一般職第一次人事協議」	石狩教育局
18日	「田岡克介氏旭日中綬章受章祝賀会」	ガトーキングダム
19日	「令和2年NPO法人石狩市文化協会新年交流会」	茨戸ガーデン
20日	「市退職校長会・互助会『市長・教育長を囲む会』」	花川南会館
	「第4回第一地区教科用図書採択教委員会協議会」	教育研修センター

21日	「教育委員勉強会」	401会議室
22日	「第13回石狩八幡小学校開校準備委員会」	八幡コミセン
24日	「1月定例校長会議」	402会議室
	「石狩市校長会学校経営研究会」	402会議室
27日	「管内教育長会」	江別市教育庁舎
	「石狩消防団新年交礼会」	茨戸ガーデン
28日	「1月定例教育委員会会議」	第2委員会室
	「令和元年度石狩市教育委員会表彰式」	本会議場
	「いしかり市民カレッジ 2020 新年交流会」	市民プール

建設文教常任委員会質疑(元年12月)

質問者@党派 ■質問事項	質問の趣旨	答弁要旨
佐藤委員@石政会 ■石狩市教育プランについて	①「家庭教育支援の充実」については、市民が参加できる事業があった方がよいのでは？ ②スマートフォンの使用についての指導について	①プランへの記載は「主な取組」であり記載は事業全てではない。家庭教育に関する事業として道教委との共同事業の外、市民向け講演会を実施している。また、保健福祉部と連携し市民のニーズを探っていきたい。 ②学校と連携し、どのような啓発が必要なのか研究していきたい。
上村委員@改革市民会議 ■石狩市教育プランについて	①新スマート社会（Society5.0）がプランに明記されたが、市教委ではどのような考えで取り進めていくのか？	①プログラミング教育を通して、あふれる情報の取捨選択力を培い、新しい社会を生きる力を育成するよう進めていく。
三崎委員@日本共産党 ■石狩市教育プランについて	①就学援助の対象費目は何か。 ②認定率が下がっている要因は。 ③国の基準と違う費目は何か。	①新入学学用品費、修学旅行費など。 ②H25年度に国が行った生活保護基準の引き下げ以降も、本市の認定基準額は同水準を維持しており、認定率の減少は世帯収入の増加が一要因と認識している。 ③2019年度から国の補助対象費目に追加となった卒業アルバム代については、本市の援助対象費目になっていない。
	①いじめアンケートで「いじめは許される」と回答している児童生徒を、市教委はどう考えているか。 ②いじめアンケートの対象者に保護者を加えては？ ③学校のいじめ防止の取組は？	①憂慮している。道徳などの時間を活用した心の豊かさを育む教育の推進や健やかな成長を促すため家庭や地域との連携、いじめ防止の意識向上に向けた指導を校長会教頭会に要請している。 ②いじめアンケートの対象者は、学校に在籍している児童生徒である。 ③教職員による児童生徒の日常観察とその情報共有、教育相談の実施、いじめの取組状況を学校便りで情報発信するなど地域とともに取り組んでいる。

建設文教常任委員会質疑(元年12月)

質問者@党派 ■質問事項	質問の趣旨	答弁要旨
三崎委員@日本共産党 ■「新・石狩市民図書館ビジョン（原案）」及び「第Ⅳ期石狩市子どもの読書活動推進計画（原案）」のパブリックコメントの実施について	【新・石狩市民図書館ビジョン】 ① 2ページ「3 市民の誰もが利用できるような環境を整備する」について、これまでの実績と今後の見通しについて伺う ② 3ページ「図書館のなかにまちをつくる」というコンセプトでスタートした図書館だが、このコンセプトをどのように生かし運営してきたのか、また今後について伺う	①郵便局のメール便を利用した「宅配サービス」、返却資料サービスポイントを設置した「返却ポスト」、イベント等に出向く「出張貸出」などのサービスとともに、市内3箇所の図書館分館（花川南、八幡、浜益）において、地域の実情に合わせた展示など、様々な方法で対応してきた。図書館やサービスの内容について、今後もしっかりと周知を進める。 ②このコンセプトは新しい図書館像として、人と物、情報を求めて賑わう図書館、開かれて動きのある、多くの方が来館できるバリアフリー施設をイメージしたものである。このように開かれたハード面（施設）に伴い、ソフト面（運営）においても、できるだけバリアフリーとすべく、利用者カードは誰でも作成可能、貸出冊数の無制限を実施している。このように開かれた図書館として、一定の来館者数をここ数年維持しており、市民の皆さんに受け入れられているものと考えている。今後もこのコンセプトを大切に、より親しまれる図書館を目指し、施設運営に取り組む。
	【第Ⅳ期石狩市子どもの読書活動推進計画】 ③ 1ページに「スマホの普及」とあるが図書館としてどう捉えているのか ④ 「調べる学習コンクール」は、どのような作品が提出されているのか	③スマートフォンの普及等による子どもの読書環境への影響の可能性について、国の第4次子どもの読書活動の推進に関する基本的な方針、第3期の計画期間における分析により影響の可能性について言及しており、利用の実態把握、分析することを位置づけている。図書館において、国等の実態調査、分析の結果をもってその対策などについて検討する。 ④このコンクールは平成24年度に開始し、今年度は第8回目、501点の応募があった。表彰内容は、小学生は学年ごとに3部門、中学生1部門の全4部門で構成している。今年度の優秀作品として、小学生部門では「にんじんはかせへの道!」、「発見!むかわ竜」、「トマト研究所」など、中学生部門では「根?茎?それとも実?」など。身近なものや、アイヌや姫路城に関するものなど大きくテーマを捉えたものなどが見受けられる。
	【再質問】 ⑤ 図書館を広くする考えはあるか ⑥ 移動図書館を実施しないのか	⑤図書館の面積を拡張する考えはない。 ⑥移動図書館の有効性については認識しているが、費用や人的コストが大きく、実施は非常に難しいと考えている。
上村委員@改革市民会議 ■「新・石狩市民図書館ビジョン（原案）」のパブリックコメントの実施について	開館から20年経過し、利用する人の考えも変わってきている。図書館に求められるものも紙媒体ではなく、ICTや電子図書館などの環境づくりが必要ではないか。原案ではICTを活用した図書館などをうたっていないが、その考えを伺う	社会情勢は変化して、情報通信機器も発達しているが、基本的に図書館に求められているものは、市民アンケートにより資料が多くあることなど、把握することができた。電子図書等については来館困難な方への対応など重要性を認識しているが、確立していく上で難しさがあることも事実である。今後5年間の中で、他図書館の動向などを注視し、今後とも情報把握に努めるとともに、まずは魅力ある蔵書にしっかり取り組み、市民に求められる図書館であるように努める。